

東京 附属病院全館改修が竣工

100周年館2期棟工事の立柱式



残り8カ月の工期の安全と竣工を祈願する(歯学部本館)



新装なった附属病院の竣工披露宴(病院1階ロビー)

病院全館新装なる

100周年館の2期棟工事進む

改修中であつた本学歯学部附属病院の全館改修工事が、一年の工期を経て竣工、十月一日に竣工披露宴を催した。また同日、工事進行中の100周年記念館第二期棟の増築工事の立柱式を挙行政した。

本学歯学部100周年記念館の第二期棟の増築工事は、第一期棟に引き続いて昨年十月着工し、工期一年を終了。残り八カ月の竣工に向けて、新館七階建の立柱式を挙行政する運びとなつた。

この立柱式は、十一月一日午前十一時半より、歯学部本館において挙行政された。式には、中原泉理事長・学長はじめ本学関係者、大神清鹿島建設副社長はじめ工事関係者など七十余名が参列した。

立柱式終了後、久方ぶりの好天の中、参列者は飯田橋駅前の附属病院に移動した。十二時十五分から全館改修なつた新病院の見学会が行われ、各階を病院関係者が案内した。各診療科では、各

二ツトをパーティションで仕切り、患者さんのプライバシーを尊重するよう配置したこと等、今回の改修の概要が説明された。午後一時から、新装なつた病院一階ロビーで、附属病院改修竣工披露宴が開催された。

はじめに中原理事長・学長が挨拶に立ち、「昨年の十月に着工し、ちょうど一年で待望の新しい病院が竣工した。今回の改修にあたり、私が特にお願いしたのは、教職員専用エレベーターの設置だけだつた。

病院長はじめ現場の皆さん方にすべてお任せした。したがって、この新しい建物は、現場の皆さんが作った病院である。皆さんで永く可愛いがっていただきたい。工事期間中に迷惑をお

同プログラムは、医学部または歯学部を置く大学の附属病院を対象として、今年度に新設された教育支援事業で、三年間で九千万円以内の補助金が交付される。

これは、日常臨床における患者の負担を的確に把握した患者中心の医療を実現できる歯科医師を養成する取組みで、多くの局面を単体でシミュレートできるシミュレーターを開発する。

このプログラムは、「全人的医療を実現できる医師・歯科医師の養成」のテーマに応募し、五件のうち一件に採択されたもの。

これは、日常臨床における患者の負担を的確に把握した患者中心の医療を実現できる歯科医師を養成する取組みで、多くの局面を単体でシミュレートできるシミュレーターを開発する。

同プログラムは、医学部または歯学部を置く大学の附属病院を対象として、今年度に新設された教育支援事業で、三年間で九千万円以内の補助金が交付される。

これは、日常臨床における患者の負担を的確に把握した患者中心の医療を実現できる歯科医師を養成する取組みで、多くの局面を単体でシミュレートできるシミュレーターを開発する。

同プログラムは、医学部または歯学部を置く大学の附属病院を対象として、今年度に新設された教育支援事業で、三年間で九千万円以内の補助金が交付される。

これは、日常臨床における患者の負担を的確に把握した患者中心の医療を実現できる歯科医師を養成する取組みで、多くの局面を単体でシミュレートできるシミュレーターを開発する。

同プログラムは、医学部または歯学部を置く大学の附属病院を対象として、今年度に新設された教育支援事業で、三年間で九千万円以内の補助金が交付される。

これは、日常臨床における患者の負担を的確に把握した患者中心の医療を実現できる歯科医師を養成する取組みで、多くの局面を単体でシミュレートできるシミュレーターを開発する。

同プログラムは、医学部または歯学部を置く大学の附属病院を対象として、今年度に新設された教育支援事業で、三年間で九千万円以内の補助金が交付される。

これは、日常臨床における患者の負担を的確に把握した患者中心の医療を実現できる歯科医師を養成する取組みで、多くの局面を単体でシミュレートできるシミュレーターを開発する。



東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼人 中原 泉
編集人 偶数月末日
発行日 1部10円
定価 (〒951-8580)
編集室 新潟市浜浦町1-8
☎ 025(267)1500



文科省・医療人教育支援事業
東京 渋井グループ採択
シミュレーションモデルの開発

本学歯学部附属病院の渋井尚武副院長を責任者とする研究グループは、このたび文部科学省の平成十七年度大学改革推進事業の「地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム」の事業推進者に選定された。

中山医学大学から臨床研修生



本学の姉妹校である台湾台中市の中山医学大学から、臨床研修生として六名の学生が来校した。中山医学大学からの研修生は今年で七回目となるが、今年度来校したのは、牙医学系(歯学部)の女子学生六名で、九月三十日から十月二十六日まで、本学歯学部附属病院に臨床研修した。

設置

歯学部附属病院病理診断室を設置する
平成十七年十月一日
本学

客員教員

歯学博士 北村 中也
客員教授を委嘱する(歯学部衛生学講座)
医学博士 石川富士郎
客員教授を委嘱する(歯学部歯科矯正学講座)
医学博士 佐藤 喜宣
客員教授を委嘱する(歯学部歯科法医学センター)
平成十七年十月一日
本学

辞令

(歯学部附属病院) 助教授 柳下 寿郎
博士(歯学) 飯田 豊
事務室に配置換を命ずる(歯学部用度管理室)
主任 飯田 豊
事務室に配置換を命ずる(歯学部用度管理室)
主任 飯田 豊

設置

(歯学部病理学講座) 病理診断室併任を命ずる
歯学部病理学講座併任を命ずる
医療職員 本池由美子
病棟・看護科看護師長を命ずる
(新潟歯学部) 助手 大熊 一夫
歯学博士 影山 幾男
教授に任命する(新潟歯学部歯科理工学講座に配置換を命ずる(歯学部歯科理工学講座))
講師を命ずる(歯科理工学講座・第73回卒・大学院歯学研究科修了)
助手 三瓶 伸也
講師を命ずる(小児歯科学講座・第86回卒・大学院新潟歯学研究科修了)
(東京短期大学) 事務室に配置換を命ずる(歯学部用度管理室)
主任 飯田 豊
事務室に配置換を命ずる(歯学部用度管理室)
主任 飯田 豊

設置

(歯学部病理学講座) 病理診断室併任を命ずる
歯学部病理学講座併任を命ずる
医療職員 本池由美子
病棟・看護科看護師長を命ずる
(新潟歯学部) 助手 大熊 一夫
歯学博士 影山 幾男
教授に任命する(新潟歯学部歯科理工学講座に配置換を命ずる(歯学部歯科理工学講座))
講師を命ずる(歯科理工学講座・第73回卒・大学院歯学研究科修了)
助手 三瓶 伸也
講師を命ずる(小児歯科学講座・第86回卒・大学院新潟歯学研究科修了)
(東京短期大学) 事務室に配置換を命ずる(歯学部用度管理室)
主任 飯田 豊
事務室に配置換を命ずる(歯学部用度管理室)
主任 飯田 豊

設置

(歯学部病理学講座) 病理診断室併任を命ずる
歯学部病理学講座併任を命ずる
医療職員 本池由美子
病棟・看護科看護師長を命ずる
(新潟歯学部) 助手 大熊 一夫
歯学博士 影山 幾男
教授に任命する(新潟歯学部歯科理工学講座に配置換を命ずる(歯学部歯科理工学講座))
講師を命ずる(歯科理工学講座・第73回卒・大学院歯学研究科修了)
助手 三瓶 伸也
講師を命ずる(小児歯科学講座・第86回卒・大学院新潟歯学研究科修了)
(東京短期大学) 事務室に配置換を命ずる(歯学部用度管理室)
主任 飯田 豊
事務室に配置換を命ずる(歯学部用度管理室)
主任 飯田 豊

設置

(歯学部病理学講座) 病理診断室併任を命ずる
歯学部病理学講座併任を命ずる
医療職員 本池由美子
病棟・看護科看護師長を命ずる
(新潟歯学部) 助手 大熊 一夫
歯学博士 影山 幾男
教授に任命する(新潟歯学部歯科理工学講座に配置換を命ずる(歯学部歯科理工学講座))
講師を命ずる(歯科理工学講座・第73回卒・大学院歯学研究科修了)
助手 三瓶 伸也
講師を命ずる(小児歯科学講座・第86回卒・大学院新潟歯学研究科修了)
(東京短期大学) 事務室に配置換を命ずる(歯学部用度管理室)
主任 飯田 豊
事務室に配置換を命ずる(歯学部用度管理室)
主任 飯田 豊

設置

(歯学部病理学講座) 病理診断室併任を命ずる
歯学部病理学講座併任を命ずる
医療職員 本池由美子
病棟・看護科看護師長を命ずる
(新潟歯学部) 助手 大熊 一夫
歯学博士 影山 幾男
教授に任命する(新潟歯学部歯科理工学講座に配置換を命ずる(歯学部歯科理工学講座))
講師を命ずる(歯科理工学講座・第73回卒・大学院歯学研究科修了)
助手 三瓶 伸也
講師を命ずる(小児歯科学講座・第86回卒・大学院新潟歯学研究科修了)
(東京短期大学) 事務室に配置換を命ずる(歯学部用度管理室)
主任 飯田 豊
事務室に配置換を命ずる(歯学部用度管理室)
主任 飯田 豊



2階総合診療室の入口、右側は受付



摂食指導診療室、専用ユニット（2階）



小手術室、観血手術設備を完備（6階）



病棟の個室病室、窓に駅側ビル（7階）



総合診療室の石膏作業室（2階）

特
写
集
真

最新最高の臨床施設で

病
附
院
属



総合待合ロビー、左側は総合受付（1階）



口腔外科診療室、広々としたエリア（5階）



完備した中央材料室内の滅菌室（6階）



口腔インプラント専用診察室（6階）



診療室前の待合ホール（各階同じ）